



2022年3月17日

各 位

会 社 名 株式会社旅工房
代表者名 代表取締役会長兼社長 高 山 泰 仁
(コード番号：6548 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 岩 田 静 絵
コーポレート本部長
TEL. 03-5956-3044

**(訂正・数値データ訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、2021年5月13日に開示いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（2022年3月17日）付「過年度決算訂正および2022年3月期第3四半期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社施工房 上場取引所 東
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03(5956)3044
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	918	△97.2	△2,120	—	△1,463	—	△1,808	—
2020年3月期	33,355	14.0	138	△58.4	138	△56.7	88	△53.5
(注) 包括利益	2021年3月期 △1,816 百万円 (—%)		2020年3月期 94 百万円 (△52.7%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△375.65	—	△222.5	△28.4	△230.7
2020年3月期	18.70	18.14	6.1	2.3	0.4
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期 — 百万円		2020年3月期 — 百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,014	108	1.9	19.02
2020年3月期	5,293	1,542	28.9	321.67
(参考) 自己資本	2021年3月期 97 百万円		2020年3月期 1,528 百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△2,996	△128	3,882	3,460
2020年3月期	△1,343	△280	689	2,702

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	5,135,500株	2020年3月期	4,752,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期	6,404株	2020年3月期	62株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	4,815,199株	2020年3月期	4,723,468株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	802	△97.5	△2,073	—	△1,428	—	△1,797	—
2020年3月期	32,733	12.7	109	△66.4	106	△65.6	72	△61.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△373.19	—
2020年3月期	15.37	14.91

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	4,906		29		0.6	5.44		
2020年3月期	5,133		1,444		28.1	303.89		

(参考) 自己資本 2021年3月期 27百万円 2020年3月期 1,444百万円

<個別業績の前期実績値との差異要因>

新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収を受け、コスト削減として、支店の統合や人件費の見直し、開発外注費やマーケティング費用の精査等を実施したなどにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。詳細については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が企業活動や個人消費に大きな影響を受けました。

旅行業界におきましては、世界各国の渡航制限や入国規制等を受けて旅行需要の大幅な減退が続いており、2020年1月から12月における日本人出国者数が前年同期比84.2%減の317万人*、訪日外客数が前年同期比87.1%減の411万人*と、著しく減少しております。

このような情勢のもと、当社グループでは、国内旅行需要の獲得に向けた取組みを推進いたしました。個人旅行事業におきまして国内ツアーの企画・販売及び国内ツアー販売システムの開発を進めたほか、法人旅行事業におきましても国内の業務渡航やMICE案件の取込みに努めました。

また、店舗の統合による地代家賃の削減や人件費の削減、開発外注費の精査、助成金の活用等によるコスト削減にも注力し、雇用調整助成金等の助成金収入623,460千円を営業外収益に計上しております。

以上の結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高は918,950千円（前年同期比97.2%減）、営業損失は2,120,411千円（前年同期は営業利益138,709千円）、経常損失は1,463,649千円（前年同期は経常利益138,061千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,808,806千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益88,340千円）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

* 日本政府観光局(JNTO)「日本の観光統計データ」

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は4,078,864千円と、前連結会計年度末比202,363千円減少しました。これは主に、現金及び預金の前連結会計年度末比763,672千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比96,694千円、旅行前払金が前連結会計年度末比328,042千円、未収入金が前連結会計年度末比198,316千円減少、貸倒引当金が前連結会計年度末比298,525千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は935,272千円と、前連結会計年度末比77,192千円減少しました。これは、無形固定資産が前連結会計年度末比40,553千円増加した一方で、有形固定資産が前連結会計年度末比26,318千円、投資その他の資産が前連結会計年度末比91,428千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,346,776千円と、前連結会計年度末比664,390千円増加しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比786,161千円、買掛金が前連結会計年度末比217,693千円、未払金が前連結会計年度末比389,804千円、預り金が前連結会計年度末比1,005,089千円減少した一方で、短期借入金が前連結会計年度末比3,000,000千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は559,288千円と、前連結会計年度末比490,216千円増加しました。これは、資産除去債務が前連結会計年度末比6,029千円減少した一方で、長期借入金が500,000千円増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は108,071千円と、前連結会計年度末比1,434,162千円減少しました。これは主に、資本金が前連結会計年度末比190,418千円、資本剰余金が前連結会計年度末比190,418千円増加した一方で、利益剰余金が前連結会計年度末比1,808,806千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、3,460,508千円と前連結会計年度末比757,672千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失1,763,921千円の計上に加え、仕入債務の減少215,258千円、旅行前受金の減少785,814千円、預り金の減少1,005,088千円等の減少要因がある一方、減価償却費の計上139,261千円、旅行前払金の減少327,625千円、未収入金の減少332,964千円、貸倒引当金の増加298,525千円等の増加要因から、2,996,912千円の支出（前連結会計年度は1,343,709千円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出166,767千円、差入保証金の差入による支出6,710千円、敷金の差入による支出585千円等の減少要因がある一方、差入保証金の回収による収入28,976千円等の増加要因から、128,204千円の支出（前連結会計年度は280,004千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使による株式の発行による収入377,936千円、新株予約権の発行による収入2,829千円、短期借入金の増加3,000,000千円、長期借入れによる収入500,000千円等により、3,882,772千円の収入（前連結会計年度は689,161千円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の連結業績の見通しは、世界的に広がる新型コロナウイルス感染拡大の終息時期が不透明であり、今後も当社が属する旅行業界の需要回復に大きく影響を及ぼすことが想定され、現時点で合理的に算出することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症拡大・長期化による事業リスク

当社グループを取り巻く事業環境につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界各国において外出制限や渡航制限が実施されており、海外旅行商品の販売を強みとしてきた当社グループの業績に重大な影響を及ぼしております。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合を想定した資金計画に基づき、固定費の圧縮や金機関等との協議、第三者に対する新株予約権の割当を実施し、事業資金を確保できる体制を構築しております。これらの対応策を継続して実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針としております。なお、IFRS（国際会計基準）については、今後の当社グループにおける外国人株主比率の推移及び国内外の動向を参考に検討いたしますが、現時点では適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,836	3,520,508
受取手形及び売掛金	176,939	80,245
割賦売掛金	58,936	8,418
旅行前払金	398,433	70,390
未収入金	686,208	487,891
未収還付法人税等	49,310	49,385
その他	155,683	161,668
貸倒引当金	△1,118	△299,643
流動資産合計	4,281,228	4,078,864
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	125,403	109,580
車両運搬具(純額)	8,649	7,731
その他(純額)	34,145	24,569
有形固定資産合計	168,199	141,880
無形固定資産		
ソフトウェア	345,486	381,265
その他	45,475	50,250
無形固定資産合計	390,962	431,515
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	44,722	—
差入保証金	157,068	135,034
その他	251,513	226,840
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	453,303	361,875
固定資産合計	1,012,464	935,272
資産合計	5,293,693	5,014,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,109	35,416
短期借入金	700,000	3,700,000
未払金	557,217	167,413
未払法人税等	15,623	28,720
旅行前受金	832,076	45,915
預り金	1,171,723	166,634
賞与引当金	11,055	1,154
その他	141,579	201,523
流動負債合計	3,682,386	4,346,776
固定負債		
長期借入金	—	500,000
資産除去債務	34,253	28,223
その他	34,819	31,064
固定負債合計	69,072	559,288
負債合計	3,751,458	4,906,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,053	654,472
資本剰余金	374,053	564,472
利益剰余金	674,428	△1,134,378
自己株式	△83	△128
株主資本合計	1,512,451	84,437
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,155	13,124
その他の包括利益累計額合計	16,155	13,124
新株予約権	—	1,979
非支配株主持分	13,627	8,530
純資産合計	1,542,234	108,071
負債純資産合計	5,293,693	5,014,137

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	33,355,387	918,950
売上原価	29,146,028	758,125
売上総利益	4,209,358	160,825
販売費及び一般管理費	4,070,648	2,281,236
営業利益又は営業損失(△)	138,709	△2,120,411
営業外収益		
受取利息	91	810
受取配当金	0	0
為替差益	1,085	2,165
助成金収入	—	623,460
受取補償金	2,000	23,877
償却債権取立益	6,111	—
その他	2,836	48,487
営業外収益合計	12,125	698,802
営業外費用		
支払利息	44	24,492
支払保証料	3,182	4,209
支払手数料	5,656	6,059
解約違約金	2,197	—
その他	1,692	7,278
営業外費用合計	12,773	42,040
経常利益又は経常損失(△)	138,061	△1,463,649
特別利益		
資産除去債務戻入益	3,200	—
特別利益合計	3,200	—
特別損失		
減損損失	964	1,235
貸倒引当金繰入額	—	299,037
特別損失合計	964	300,272
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	140,298	△1,763,921
法人税、住民税及び事業税	32,584	4,603
法人税等調整額	12,314	44,762
法人税等合計	44,899	49,366
当期純利益又は当期純損失(△)	95,399	△1,813,287
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	7,058	△4,481
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	88,340	△1,808,806

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	95,399	<u>△1,813,287</u>
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△172	—
為替換算調整勘定	△898	△3,647
その他の包括利益合計	<u>△1,070</u>	<u>△3,647</u>
包括利益	94,328	<u>△1,816,935</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	87,024	<u>△1,811,837</u>
非支配株主に係る包括利益	7,304	△5,097

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	426,942	336,942	586,087	△83	1,349,888
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	37,110	37,110			74,221
親会社株主に帰属する 当期純利益			88,340		88,340
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	37,110	37,110	88,340	—	162,562
当期末残高	464,053	374,053	674,428	△83	1,512,451

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	172	17,299	17,472	6,323	1,373,684
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)			—		74,221
親会社株主に帰属する 当期純利益			—		88,340
自己株式の取得			—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△172	△1,144	△1,316	7,304	5,987
当期変動額合計	△172	△1,144	△1,316	7,304	168,550
当期末残高	—	16,155	16,155	13,627	1,542,234

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	464,053	374,053	674,428	△83	1,512,451
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	190,418	190,418			380,837
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,808,806		△1,808,806
自己株式の取得				△45	△45
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	190,418	190,418	△1,808,806	△45	△1,428,013
当期末残高	654,472	564,472	△1,134,378	△128	84,437

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	16,155	16,155	—	13,627	1,542,234
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)		—			380,837
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		—			△1,808,806
自己株式の取得		—			△45
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,030	△3,030	1,979	△5,097	△6,149
当期変動額合計	△3,030	△3,030	1,979	△5,097	△1,434,162
当期末残高	13,124	13,124	1,979	8,530	108,071

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	140,298	<u>△1,763,921</u>
減価償却費	100,672	139,261
減損損失	964	1,235
受取利息及び受取配当金	△92	△811
支払利息及び支払保証料	3,226	28,702
為替差損益(△は益)	324	△1,496
助成金収入	—	△623,460
受取補償金	△2,000	<u>△23,877</u>
売上債権の増減額(△は増加)	677,562	143,553
旅行前払金の増減額(△は増加)	826,841	327,625
未収入金の増減額(△は増加)	△539,073	332,964
仕入債務の増減額(△は減少)	△520,678	△215,258
旅行前受金の増減額(△は減少)	△3,310,259	△785,814
未払金の増減額(△は減少)	389,307	<u>△415,494</u>
預り金の増減額(△は減少)	1,121,080	△1,005,088
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	<u>298,525</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	△111,279	△9,747
預け金の増減額(△は増加)	107	260
その他	101,670	59,155
小計	<u>△1,121,374</u>	<u>△3,513,686</u>
利息及び配当金の受取額	92	811
利息及び保証料の支払額	△5,861	△35,283
助成金の受取額	—	530,380
補償金の受取額	2,000	6,166
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△218,566	<u>14,700</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,343,709</u>	<u>△2,996,912</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△306,482	△166,767
差入保証金の差入による支出	△20,905	△6,710
差入保証金の回収による収入	56,500	28,976
敷金の差入による支出	△58,372	△585
その他	49,256	<u>16,881</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△280,004</u>	<u>△128,204</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000	3,000,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△6,036	—
リース債務の返済による支出	△5,503	—
ストックオプションの行使による収入	702	2,052
新株予約権の発行による収入	—	2,829
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	377,936
自己株式の取得による支出	—	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>689,161</u>	<u>3,882,772</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△767	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△935,319</u>	<u>757,672</u>
現金及び現金同等物の期首残高	3,638,155	2,702,836
現金及び現金同等物の期末残高	<u>2,702,836</u>	<u>3,460,508</u>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、旅行業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	321.67	19.02
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)(円)	18.70	△375.65
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	18.14	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	88,340	△1,808,806
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	88,340	△1,808,806
普通株式の期中平均株式数(株)	4,723,468	4,815,199
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	146,001	—
(うち新株予約権(株))	(146,001)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使)

当連結会計年度後、当社が2021年1月8日に発行した第2回新株予約権(行使価額修正条項及び行使許可条項付)の権利行使が行われております。

新株予約権が行使され、2021年4月1日から2021年5月12日までに発行した株式の概要は以下のとおりであります。

- ① 行使された新株予約権の個数 523個
- ② 発行された株式の種類及び株式数 普通株式52,300株
- ③ 資本金増加額 24,834千円

④ 資本準備金増加額 24,834千円

以上により、2021年5月12日現在の発行済株式総数は5,187,800株、資本金は679,307千円、資本準備金は589,307千円となっております。